

- 子どもが前向きに取り組むためのやる気の引き出し方の研究を、家庭・地域と連携して取り組んでいく必要がある。
- 子どもが主体的に取り組むためには、子どもの考えを引き出し「どうしてそう思うの?」「どうやって調べるの?」と問い返すことが大切である。
- 基礎的な語句を授業の中で使うように子どもに働き掛けることで、基礎的・基本的な知識を定着させることにつながる。
- 資料から情報を読み取る力を付けるためには、幼少期からの読み聞かせが大切である。
- 資料から情報を読み取る力を付けるためには、読書も大切である。一人一台端末を活用する活動と辞書や書籍等を活用する活動とのバランスを取ることが大切である。
- 家庭では、調査の結果のみを見るのではなく、問題内容について話題にすることも、子どもが主体的に取り組むことにつながる。
- 「固定的マインドセット（どうせ無理だ）」から「成長的マインドセット（やればできる）」へ置き換えをするには、過程に目を向けて認めることが大切である。